

没後二〇年十論集刊行記念シンポジウム

歓待・倒錯・共犯性

ピエール・クロソウスキーの思想をめぐって

プログラム

開会挨拶 (10:30-)

発表・午前の部 (10:35-12:15頃)：ビデオ配信

國分功一郎 (東京大学) 「クロソウスキーと歓待の原理、再び——『ディアーナの水浴』を読む」

千葉文夫 (早稲田大学名誉教授) 「聖女テレサの介入——『バフォメット』再読」

酒井健 (法政大学) 「メディアとしてのシミュラクル——バタイユからクロソウスキーへ」

須田永遠 (国立情報学研究所) 「読み手によるコミュニティ——「共犯者」の具体的様相」

兼子正勝 (電気通信大学名誉教授) 「悪はありやなしや」

発表・午後の部 (13:00-14:20頃)：YouTube配信

山内志朗 (慶應義塾大学) 「クロソウスキーとスコラ神学的歓待論——ポルノスコラグラフィの神学」

森元庸介 (東京大学) 「予見と行動、あるいはイメージの内乱」

松本潤一郎 (就実大学) 「二重権力のユートピア——クロソウスキーにおける倒錯としての価値転換」

大森晋輔 (東京藝術大学) 「クロソウスキーと〈悪循環〉」

テーブルトーク (14:45~16:15頃)：リアルタイム配信

dir. par Shinzuke DMORI

2021年5月8日(土) 10:30-16:15
オンライン開催 (Zoom)

※参加無料・要登録

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属 共生のための国際哲学研究センター (UTCP) および科学研究費 (基盤研究 B)：

「予見 (prevision) をコア概念とした統合的思想史の構築」(研究代表者：田中純) 共催：水声社

問い合わせ先：klossowskisymposium@gmail.com (オーガナイザー：須田永遠)